


可部南学区

社協だより

可部南小学校区
世帯数 / 4,169 世帯
人口 / 8,651 人
65 歳以上 / 2,280 人
広島市住民基本登録台帳による
(H30.6.30 現在)

発行:  可部南地区社会福祉協議会

☎/FAX : 812-2940

大人ふれあいパーク開催

日時: 10月22日(月)10:00~15:00 出入り自由

場所: 可部福祉センター

みんな来てみんなさい!
見て・しゃべって、楽しもうやあ〜!

おしゃべり喫茶



ホッと一息 あなたと私

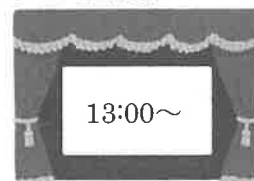
みんな ハッピー

笑って笑って 心も体も元気になれる講座
～ コンとソソするよ ～
10:00~11:00



講師: 認知症予防指導士 原ちさと さん

DVD鑑賞



題は『当日のお楽しみ?!』

折り紙 絵手紙 など



ご無沙汰している
あの人に送ろう!

よろず相談



三入・可部地域包括支援
センター専門員が担当

ラッキー抽選会

映画終了後実施



空気が弾!

おーちゃんカラオケ



唄えば脳細胞が喜ぶよ!

ピンポン



誰でも! 楽しく!

※むすびとお茶の販売あり
※いきいきポイント対象事業(手帳持参)

赤い羽根共同募金は

じぶんの町を良くするしくみ

今年も愛の募金をお願いします。

頻発する災害のボランティアセンター立ち上げにも活用されます。

募金は地域の福祉活動に助成！

見守り・支援活動、ボランティアバンク、ふれあい・いきいきサロンなど地域福祉の活動費として還元されます。

「幸せ」と「豊かさ」を分かち合える福祉の充実のために、みなさまのご理解と一層のご協力をお願いします。

・期間：10月1日～12月31日

・募金方法

個別募金…町内会・自治会を通じた募金

1世帯あたり400円を目指しています。

法人募金…企業や病院・商店からの募金



“赤い羽根共同募金”は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、平成30年で71周年を迎えました。

「救急医療情報キット」の書き替え更新を推進中

～高齢社会での安全・安心を守るために～

救急車を呼んだ時の安全と安心を守る取り組みとして、平成22年から「救急医療情報キット」の配布を行っています。

◇既にキットをお持ちの方――救急安心カードが古くなっていませんか？

医療情報の記載内容に変更のあった場合は、その都度ご自分で修正していただく必要があります。変更事項のある方には、新しい用紙をお配りします。

ご自身での記入が難しい場合は、代筆も承ります。

◇新たに配布を希望される方――実費にてお配りします。

まだ所持してなくて、配布を希望される方にも対応していきます。

配布対象：70歳以上の方、

健康に不安を抱える方

料金：200円(実費)

キットに入れるもの

① 救急安心カード

・本人氏名

・緊急連絡先

・かかりつけ医

・既往症などを記載したもの

② お薬の説明書



※ 問い合わせは、地区社協（☎812-2940 月・水・金 9：30～11：30）まで。

平成30年度

「理事会構成員」(順不同、敬称略)

町内会・自治会代表者

上原 上	岡本 等
上原 中	山田 克己
上原 下	竹本 靖則
上原 前	石原 誠
上原 五輪田	中村 光政
上原 二区	上杉 浩二
上原 電々	井村 知佳子
第一東亜ハイツ	長原 康彦
第二東亜ハイツ	松井 修
三菱団地	安部 章
中 島	添田 裕司
中 屋	迫田 一則
下の浜	串井 武憲
中島市住管理組合	熊谷 久代

民生委員・児童委員代表者

串井 真代	川西 千年
小西 正明	井上 早苗
藤川 明美	正尺 豊子
伊藤 正恵	小泉 小夜子

各種団体代表

地区社協	中山 忠幸
町内会・自治会(協)	松井 修
公衆衛生推進(協)	松井 修
可部南女性会	中山 幸子
青少年育成(協)	岩本 龍則
子ども会育成(協)	串井 良成
母子寡婦福祉会	上川 久子
学区体育協会	岡田 政明
可部南小P.T.A	西林 昌則
地域活動連絡(協)	串井 真代
地区防犯(連)	山本 宏昭
民生・児童委員(協)	篠原 典祐
学区ゆめクラブ(連)	高村 壽夫
献血推進協力会	小西 正明
自主防災(連)	迫田 一則
コミュニティ交流(協)	岡田 政明

可部南地区社会福祉協議会

会 長	中山 忠幸
副 会 長	山西 幸子
副会長・事務局長	高田 耕造
会 計	大和 績夫
参 与	溝広 英雄
地域福祉推進委員	
兼高齢者支援部会長	高田 真喜子
高齢者行事部会長	有末 妙子
社会貢献部会長	木村 浩
児童福祉部会長	染井 千恵
広報紙編集長	脇 哲夫
高齢者支援部会	藤原 譲二
高齢者行事部会	三浦 忠晴
高齢者行事部会	葛西 明美
児童福祉部会	吉賀 信子
監 査	迎川 武
監 査	小田 興治

ふれあいいきいきサロン世話人・代表者

《名称》		《開催場所》
椎の実の会	竹本 靖則	可部南集会所
スズメの会	坪井 巴	上原前集会所
あじさい会	角井 富美子	上原東集会所
花咲会	桑原 郁子	上原東集会所
もみじ	安部 章	上原北集会所
どんぐり	遠原 恵美子	上原北集会所
サロンdeさくら	松井 修	第二東亜ハイツ集会所
中島 夢の会	藤川 明美	可部福祉センター
中島 虹の会	小西 正明	中島南集会所
サロン・らべんだー	串井 真代	下の浜集会所
子育てサロンかべみなみ	染井 千恵	可部福祉センター



広報紙の名称変更について

会長 中山 忠幸

1974年(昭和49年)11月の創刊以来40年余の間、地域コミュニティの役割を担いつつ皆様のご愛顧をいただいております可部南地区社協の広報紙「太田川」は、その役割を終え、ボランティアバンク「ひまわり」を統合して名称を『可部南学区社協だより』と変更、年4回の季刊紙と

して発刊することになりました。

人生100年時代 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける 地域福祉支えあいのまちの広報紙を目指します。

今後とも皆様のご支援ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年度 第一回理事会開催

平成30年5月19日(土)、理事会を開催し、事業活動報告、決算報告及び予算、事業活動計画などが承認されました。

平成29年度決算 および 平成30年度 予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部				(単位:円)
科 目	第42期 29年度		第43期30年度 予 算	備 考
	予 算	決 算		
前年度繰越金	378,103	378,103	368,471	
会費・賛助会費	563,300	565,190	404,100	2,040戸190円・賛助会員33人500円
市補助金	60,000	60,000	60,000	
共同募金配分金	425,000	429,360	384,900	
広報紙助成金	15,000	15,000	15,000	安佐北区社協助成金 (計=504,900円)
活動拠点整備事業費	30,000	30,000	30,000	
連携会議開催助成金	0	15,000	15,000	
参加者負担金	72,500	72,500	76,500	お花見会(153人)
寄 付 金	50,000	170,000	50,000	愛の灯
雑 収 入	6,097	13,605	46,029	共同募金・救急情報キット
計	1,221,897	1,370,655	1,081,529	
合 計	1,600,000	1,748,758	1,450,000	
支出の部				(単位:円)
科 目	第42期 29年度		第43期30年度 予 算	備 考
	予 算	決 算		
会 議 費	30,000	23,595	30,000	月例会・理事会等
事 務 費	110,000	127,302	110,000	事務用草莽品・資料印刷
通 信 費	40,000	37,836	80,000	電話料金・郵送料
広 報 費	280,000	279,714	170,000	広報紙4回編集発行
研 修 費	50,000	49,500	50,000	区社協研究会・連絡会議等
区社協年会費	105,000	102,350	102,000	2,040戸×50円
募金・義援金	50,000	15,000	50,000	共同募金・義援金
保 険 料	35,000	22,050	30,000	ポ・活動保険料
雑 費	40,000	23,024	25,000	見舞金・香典他
ポ・バンク活動費	50,000	4,698	10,000	ポ・会員の集い他
まちの保健室	50,000	89,996	25,000	介護予防サロン・安心ネット
お花見会	210,000	210,596	224,000	文教委まつり(4/3開催)
大人フェスタ	0	0	30,000	
サロン助成金	200,000	189,000	220,000	いきいきサロン11団体へ助成
サロン研修・活動費	70,000	4,756	10,000	いきいきサロン研修他
子育てサロン	30,000	21,406	35,000	子育てサロン運営
救急救命情報キット	50,000	58,320	50,000	救急救命キット用品購入
紙 門 松	30,000	21,144	29,000	紙門松印刷配布
特別資金	100,000	100,000	100,000	特別会計へ
予 備 費	70,000	0	70,000	
計	1,600,000	1,380,287	1,450,000	
次年度繰越金	0	368,471	0	
合 計	1,600,000	1,748,758	1,450,000	

☆☆☆ 愛の灯 ☆☆☆

平成30年4月1日から8月31日まで、下記の方々よりご寄付をいただきました。

真心のこもったご厚志に深く感謝申し上げます。ここに紙面をかりてご報告いたします。

- 可部南三丁目 山田 佐千子 様
- 可部南一丁目 村上 朝子 様
- 可部南四丁目 桑原 幸夫 様
- 可部南一丁目 大田 佳宏 様
- 可部南三丁目 森吉 剛 様

可部南地区社協では一般企業や住民の皆様からの香典返しに代えてのご寄付や福祉活動支援をお受けしております。

ご厚志は地区社協で貴重な財源として「ふれあいいきいきサロン」や「ボランティアバンク」「高齢者福祉」など地域福祉活動に有効活用させていただいております。

皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

西日本豪雨災害義援金

7月6日に発生した「西日本豪雨災害」への義援金は広島市社会福祉協議会を経て全国中央募金会を通じて全て被災地に贈られ、復旧・復興の支援活用されてまいります。

可部南学区社会福祉協議会として、50,000円を贈らせていただきました。

オーラルフレイル予防講座を開催

- “かみかみ百歳体操” が改善に役立ち -

6月30日(土)、『老化は口からはじまる』と題し、安佐市民病院歯科口腔外科部長の岡本康正先生を講師に迎え、可部福祉センターでの百歳体操の前にお話しいただきました。

お話しの中で先生からは、「上手に噛むことに舌が重要な役割を果たしています。舌の衰えが誤嚥の原因にもなりますし、食べ物が噛めなくなって栄養状態の悪化、筋力低下に直結します。唇、舌、頬の筋肉は年齢とともに老化します。みなさんのやっておられる“かみかみ百歳体操”は改善に役立つものです」と。

参加者の一人は、「今まで何も考えずにかみかみ体操をやったけど、意味が理解できました」と言われていました。



参加者とお話し中の岡本先生(右)



上原地域で“いきいき百歳体操”がスタート

- 可部南学区内4カ所目の開設 -

7月2日(月)、可部南集会所(可部東2丁目25-3)を会場に、60数人の方が集いスタートしました。

当日は開催を待ち望んでいた地元の方や三入・可部地域包括支援センターなどからも支援に多くの方が来られました。



みんなで声を合わせて「1・2・3・4……」

竹本康則上原連合自治会長のはなし
「開催に当たり、多くの方からご支援をいただき、ありがとうございました。始めてから2か月経ちましたが、毎週40~50名が参加。グループ順にお世話役をするなど、積極的に行われています。健康のためだけでなく、新たな絆もできつつあるようです。楽しく、継続できることを願っております」。



いきいきサロン研修会を開催

- 各サロンとも特色ある運営 -

7月21日(土)、可部福祉センターで行われた今回の研修会は、いきいきサロンの代表者とそのお手伝いをされている方の会合でした。

各サロンからは活動の状況を話していただきました。健康づくりでは、百歳体操、ラジオ体操、グラウンドゴルフを行なっているところや、友好と実益を兼ねたゴキブリ団子作りもありました。さらにカラオケ、手芸、ゲーム、可部町めぐり、口腔ケア講座などいろいろ特色あるイベントを開催しておられました。



いきいきサロン研修会の様子

7月5日から降り続いた豪雨により西日本を中心に各地で大規模の土砂災害や河川の氾濫で甚大な被害が発生しました。

安佐北区内においても、県道37号線(白木街道)、JR芸備線が遮断されたことによる影響で、白木方面はボランティアが集まりにくい状況となりました。

白木町高南学区内の被災者から「助けて下さい」との悲鳴に、今こそ4年前の8.20の恩返しをす



作業開始前の全体ミーティング

るときではないかと可部7学区全体で床下の泥だし等の復旧活動に取り組みました。

可部南学区内の住民も、「困ったときはお互い様。助けて下さいとの声に応えるのは当たり前」と、体協、子ども会、母親クラブ、青少協、可部南小PTA、社協等のメンバーが参加しました。

断水が続く白木町ではトイレも使えず、連日35度を超える酷暑のなかの泥まみれの無償の作業に、「本当にありがたかった」と多くの感謝の声が寄せられています。



酷暑の中の「土のう詰め」

いきいき百歳体操

〈かみかみ、しゃきしゃき百歳体操〉

- ◇場所：可部福祉センター(可部南2丁目)
- ◇開催：10時～11時30分 ◇参加：無料
- ◇開催日(10月～12月)
- 10月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)
- 11月3日(土)、10日(土)、17日(土)
- 12月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)

掲
示
板

子育てサロン かへみなみ

親同士で子育ての情報交換ができます！

- ◇場所：可部福祉センター(可部南2丁目)
- ◇開催：10時～11時30分 ◇参加：無料
- ◇開催日(10月～12月)
- 10月5日(金)
- 11月9日(金)
- 12月7日(金)

根の谷川 7月6日に発生した西日本豪雨災害で残された爪あとは大きく深い。復旧・復興もまだ道半ばのところが多い。発災1週間後、区からの要請に沿い、白木町高南学区土砂撤去ボランティアの派遣呼びかけに、可部南学区からも多くの方が応じられた。「土砂かき」作業が主体である。他にも「救護ボランティア」や「支援物資の仕分け」、「物資の運搬」にも応じている▼年代別では10代から70代まで幅がある。小中学生の子どもを持つ30代40代の現役親世代では、LINEでの呼びかけに応じて下さった方もいた。4年前の土砂災害のとき受けた支援への『お礼』の気持ちで参加した人も多い。「みなさん、ご苦労さまでした」。『ボランティア/心が光る/玉の汗』(中国新聞・時事川柳)▼困っている人がいれば「何とかしてあげたい」との思いは誰にもある。ボランティアに年齢は関係ない。高齢者にショベルを振るう「土砂かき」は出来ないかも分からない。その体力はなくとも、意欲があれば、人生の経験や知恵が活かせる役割があるはずだ▼自然の圧倒的な力を前にすると人間はもろい。それでも多くの献身的な復旧作業があり、被災地を思いやる心がある。それこそ我々が大事にしていかなければならない第一のものではないか。(哲)